



本校ホームページ

# 石二小だより

第26号 平成31年 2月15日(金)

発行・文責：木村 恵子

## 大なわ大会で記録にチャレンジ!

### 低学年

12日に低学年の大なわ大会が行われました。

体育館いっばいに各学級がひろがり、これまで練習した成果を披露しました。

1・2年生は、間をあけないで次々に縄に入っていくことは難しいです。だから、先生方は、「ほら、はいって、ポン」入るタイミングを教えたり、大きな声で掛け声をかけたりしていました。

低学年の部の結果は、3分間で120回跳んだ2年2組の優勝でした。



1年1組



1年2組



2年1組



2年2組



### 中学年

13日に中学年の大なわ大会が行われました。

さすが中学年。跳び慣れていて、縄への入り方がスムーズです。縄にひっかかる子どももあまりなく、回数を重ねていきます。

優勝は206回跳んだ4年1組でした。

この大会は、学級みんなが力を合わせて練習することによって、学級集団としての高まりが期待できるまたとないチャンスです。



3年1組



3年2組



4年1組



4年2組

# 民友新聞に掲載「わが校歌」

※ 左のように二月五日（火）の民友新聞に本校の校歌が掲載されました。  
 ちようど第二学期終業式に校歌を歌っているところを取材していただきました。  
 低学年児童が一生懸命校歌を歌う姿が、ほほえましいです。

## 教育・子育て

火曜掲載

### 尊徳の教え「報徳」息づく

石神二小 南相馬市



古里の魅力が詰まった校歌を元氣いっぱい歌う児童

### わが校歌

- 一、明日は羽ばたく わが胸に  
 希望は高し 国見山  
 校庭の桜や 匂う竹  
 心にしめて いざ飛ばん
- 二、世紀の光 今あらた  
 ひじりの教え 香る里  
 学びの道を ひとすじに  
 われら手を取り いざ行かん
- 三、雲雀ヶ原の 春霞  
 紅葉燃え立つ 横川や  
 恵み豊かに 天地の  
 精気身にうけ いざ立たん

作詞 和田 甫  
 作曲 天野秀延

江戸時代の農政家・二宮尊徳金次郎の子孫が暮らした南相馬市原町区石神地区には今なお、尊徳の教え「報徳仕法」が息づく。同地区にある石神二小の校歌には「ひじりの教え 香る里」とあり、社会貢献のできる人間になってほ

しいとの願いが込められている。同校は1872（明治5）年に馬場小として創立し、99年に現在の校名となった。1961年制定の校歌は、地元の校歌に数多く名を残している和田甫さんと天野秀延さんが作詞、作曲した。現在、児童268人が古里の魅力を歌い継いでいる。

同市で整備中の「福島ロボットテストフィールド」などに対応しようと、同校はロボット教育にも力を入れる。児童はドローン（小型無人機）の空撮映像を通して、学校周辺に報徳仕法に基づく水路路やため池があることを知り、最先端技術と融合させて地域の伝統を学んでいる。木村恵子校長は、報徳の教えを基軸に、新しいことにどんどんチャレンジできる子どもに育てたい」と思いを語る。

学校は雄大な自然に囲まれ、校歌にも登場する。大橋優翔さん（5年）は「自然がたくさん出てくる3番の歌詞が特に好き」と笑みを浮かべた。

先月、右の写真のように体育館に大型スクリーンを設置しました。今後、各種行事や全校集会、PTA 親子講演会でも活用できます。

また「第66回福島県PTA研究大会南相馬大会」が来年度10月20日に開催されます。会場は“ゆめはっと”と周辺の学校です。

本校体育館は第3分科会「家庭教育（小学校）」の会場となる予定です。

